

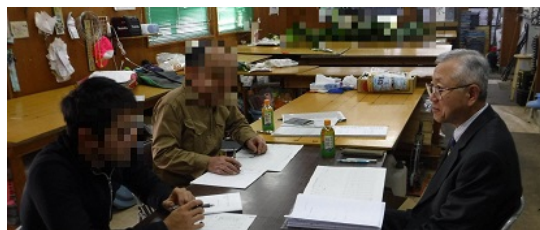
事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
農事組合法人 A	6名	新潟県新発田市	経営改善、経営継承、雇用・労務	専門家派遣回数 5回

相談内容・現状課題

■相談内容

後継者が就業し、数年の内に経営継承することを検討していることから、経営継承までに商品化率及び品質を向上させ、経営収支の改善を図りたい。

また後継者を含めた従業員の栽培技術レベル及び作業効率の向上を図りたい。



■現状課題等

- 経営収支の改善に向けた経営計画の見直し及びそれに基づくPDCAサイクルの実践が必要。
- 商品化率や品質の向上とコストの削減のため、生産技術の向上やコスト意識の共有化が必要。
- 指示待ちとなることが多く、作業効率が低いため、従業員自ら考え動けるようになることが必要。
- 後継者は就農から日が浅く、他従業員も生産等の経験が少ないため、栽培マニュアルや作業手順の作成・共有化が必要。

支援体勢・改善提案 (問題解決方法)

■支援内容

1 支援チームの編成

中小企業診断士、県地域振興局

2 支援内容(計5回:中小企業診断士による支援)

経営改善、経営継承のプロセスと経営安定に向けた働き方について、段階的に法人の総合的な課題解決の支援を実施。

初回

経営収支の改善に向け、法人代表者及び後継者へのヒアリングを行い、重点課題を絞り込み。

- 県地域振興局等より、商品化率及び品質の向上・作業の効率化対策などの指導を受けると同時に従業員の育成と共通認識を持つために社内研修の実施を提案。
- 従業員の労務管理のため、就業規則や年間労働カレンダーの作成等を提案。
- 後継者への具体的な経営継承プロセスを説明。

2回目以降

- 雇用契約や労務管理への支援(労働時間の現状整理、所定労働時間の設定、年間労働カレンダーの作成など)
- 時期別労働時間の適正化について支援(農繁・閑期の作業量にマッチした労働時間の設定、使用者と従業員との共通認識の持ち方、使用者の労務管理など)
- 経営継承計画の策定について支援(損益計画、資金計画、生産計画、代表理事の交代、後継者育成、経営データの整理など)

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

- 県地域振興局の支援によって栽培マニュアルを整備し、従業員で共有するとともに、社内研修会等により、栽培技術向上に向けた取組を実践。
- 就業規則等を整備したことで、経営者と従業員とで労務管理をはじめ、作業の効率化についての共通認識が持たれた。
- 年間労働カレンダーの作成により、年間・月別の労働時間が設定され、時期ごとに確保できる労働力が見える化された。
- 経営継承計画が策定され、継承までのプロセスや経営改善に向けて取り組むべき事項が明確となった。

■支援チームの所感

- 経営改善、経営継承計画等の策定に取り組み、プロセスや取組事項が明確になったことで後継者の不安が減り、経営継承に向けた取組に弾みがついた。
- 今後は、経営改善の取組や経営継承に向けた取組が計画どおり実施されているかを把握しながら、必要に応じて専門家派遣等を行い、フォローアップしていく。